

事業所名

ぼてと

支援プログラム

作成日

R7年

2月

3日

法人（事業所）理念	お子さま一人ひとりのできることを引出し、寄り添うことで子どもも親も行きたいと思える場所『子どもの思いに共感する、親の悩みを分かち合う、信頼関係を築く、安心できる場所』		
支援方針	法人理念を達成するために応用行動分析により、お子さま一人ひとりに合わせたプログラムを実践し、得意を伸ばし苦手を軽減できるようそれぞれの特性に応じた個別支援計画を作成し、療育を行います。		
営業時間 (サービス提供時間)	平日 11:00~19:00 (13:30~18:30) 学校休業日の平日 9:00~17:00 (10:00~16:00)	送迎実施の有無	あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時、送迎時の子どもたちの小さなサインから心身の異変に気付けるよう観察し共有します。 ・来所時に、検温・手洗い・うがいを行い、検温結果を自ら記録する習慣化しています。 ・生活の中での課題や相談をご家族様から伺い、個別支援に取り入れ支援します。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントやタブレットを活用したビジョントレーニングやコグトレにより、視覚、聞く力、ワーキングメモリー等を養います。 ・日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動機能の観察を行い、必要に応じて個別支援として支援を行います。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムテーブルの確認による時間の意識や経過を感じられるように支援します。 ・集団活動や制作活動にて、各感覚を刺激し興味の幅を広げることが出来るように支援します。 ・集団での遊びや関わりの中で、自分の気持ちを知り前向きな行動になれるよう支援します。 	
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまの特性に応じた課題を設定し、個別のプリント学習により、計算・漢字の読み書きの能力や語彙力を身に付られるよう支援します。 ・自己紹介や自分の気持ちを発表する機会を設け、コミュニケーション手段の獲得を支援します。 ・集団活動を通じて、他者とのやり取りの場を提供し、職員が間に入りコミュニケーション力が付くよう援助・支援します。 	
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動を通じて、ルールや順番を守ることなど協調した関わりを持てるよう支援します。 ・自ら挨拶できるように意識付けを行います。 ・地域の祭りやイベントに参加し、公共施設を利用することで公共の場での振舞い方などマナーを身に付けていきます。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で気になることがあればLINEまたは電話等で保護者に報告し、聞き取りを行います。 ・必要に応じて面談や参観する場を設けて、不安や困りごとに対する相談援助を行います。 ・保護者会（今年立ち上げ予定）の開催により、ご家族の悩みを共有します。 		
移行支援	学校や福祉施設などの他関係機関との情報交換などの連携により包括的な支援を行える環境を構築し支援します。		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公共施設を利用して、地域資源を活用しています。 ・学校、福祉サービス等との連絡を取り合ったり、事業所連携部会等に参加して情報共有を行っています。 		
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、支援終了後に『振り返りミーティング』を実施して、子どもの特性に応じた対応・支援要領の共有を行っています。 ・内部研修やオンラインセミナーを活用した職員の識能の向上を図っています。 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・節分の豆まき、夏祭り、クリスマス会など季節ごとのイベント ・月1回を基準にコミュニティセンターを活用して、調理体験会・昼食会を計画しています。（7年度） ・横須賀市自然・人文博物館、ソレイユの丘などを活用した野外活動や買い物体験を行います。 		